

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名    |    | Viento   |    |     |  | 公表日   |  | 令和8年 5月 30日 |  |
|---------|----|--|----|-----|--|---|--|-------------|--|
|         |    | チェック項目   | はい | いいえ | 工夫している点  | 課題や改善すべき点   |  |             |  |
| 環境・体制整備 | 1  | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。   | 9  |     | 広いスペースの確保と机上での作業ができるスペースがあります。   | 物品の配置を工夫し安全に過ごせる環境づくりに努めます。   |  |             |  |
|         | 2  | 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。   | 9  |     | こまめな申し送りとスケジュール管理。ICT導入による業務の効率化を工夫しています。  | 送迎対応や各種会議参加による職員参加で不在になると、部分的に人手不足を感じる時間がある。引き続き、業務の効率化とスケジュール管理の強化の徹底に努めます。                |  |             |  |
|         | 3  | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。  | 9  |     | 安全配置だけでなく、児童が安心できること、心の発達の視点から考えた空間づくりを目指しています。                                      | キッチンのエリア環境は整備の必要がある。物品の配置等を工夫し、児童が安全・快適に過ごせるよう十分なスペースの確保、環境調整を行います。                         |  |             |  |
|         | 4  | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。  | 8  | 1   | 子供たちと、自分達が過ごす、また他者と共有する生活空間であることを自覚し、みんなが居心地よく過ごすためにはどうすればよいかを話し合い、一緒に掃除活動に取り組んでいます。 | 片付けや細めな掃除が必要。感染予防も含め、清潔を保つよう努めます。また、子供たちが自分達が利用する共同空間を、心地よく過ごすためにはどうすれば良いかを考えて行動する機会をつくります。 |  |             |  |
|         | 5  | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。   | 9  |     | 児童から、静かに過ごしたい、勉強したいと希望がある際には対応できる個室があります。  | 必要に応じた部屋や場所の使用を備えており、利用する児童、他の児童に使用にあたる説明を行っています。   |  |             |  |
| 業務改善    | 6  | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。   | 9  |     | 日々のミーティングで業務の見直しを行っており、定期的な業務改善ミーティング、申し送りノートを実施しています。                               | フルタイム職員、パートタイムの職員にとっても共有できるように申し送りのノートや業務連絡を継続します。  |  |             |  |
|         | 7  | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。   | 8  | 1   |  | パートタイム、フルタイムの職員全体が已評価結果を共有し、業務改善に向けた話し合いを実施していきます。  |  |             |  |
|         | 8  | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。   | 9  |     |  |   |  |             |  |
|         | 9  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。   | 1  | 8   | 各専門職がそれぞれの視点から評価を行い、業務改善に努めています。   | 第三者による外部評価は現在行っておりませんが、法人の理事会との連携を予定しております。   |  |             |  |
|         | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。  | 9  |     |  | 通常業務、書類作業等、限られた時間の中で研修受講時間を確保するために、オンライン研修導入を予定しています。                                       |  |             |  |
|         | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。  | 9  |     |  | 事業所ホームページにて公表しています。   |  |             |  |
|         | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。   | 9  |     |  | アセスメントが不十分な部分は、聞き取りシートの活用、日々のごまめな連絡、必要な時には直接面談を実施していく。                                      |  |             |  |
|         | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。   | 9  |     |  |   |  |             |  |
|         | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。  | 9  |     |  |   |  |             |  |
|         | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。  | 9  |     |  |   |  |             |  |
|         | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 9  |     |  |   |  |             |  |

|              |  |  |   |   |                                |  |
|--------------|--|--|---|---|--------------------------------|--|
| 適切な支援の提供     | 17   | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。   | 9 |   | 毎月1回、来月の活動プログラムを立案し、掲示しています。   |  |
|              | 18   | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。   | 9 |   | 5領域を意識した活動、色々な活動プログラムを立案しています。 |  |
|              | 19   | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。                           | 9 |   |                                |  |
|              | 20   | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。                    | 8 | 1 |                                | 活動の流れや役割の話し合いが必要です。職員の勤務時間（パートタイム）によっては十分な打ち合わせができない日があり月1回の会議で行っています。   |
|              | 21   | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。                             | 9 |   |                                | 職員の勤務時間（パートタイム）によっては十分な打ち合わせができない日がありまうので、社内版LINEworksを活用申し込み送りを実施しています。 |
|              | 22   | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。   | 9 |   |                                |  |
|              | 23   | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。                              | 9 |   |                                |  |
|              | 24   | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。                                    | 9 |   |                                |  |
|              | 25   | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。                               | 9 |   |                                |  |
| 関係機関や保護者との連携 | 26   | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。                           | 9 |   |                                |  |
|              | 27   | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。                         | 9 |   |                                | 関係機関と連携した支援を行う体制は整っているが、連携する機会をもつ事が難しい面もあります。                            |
|              | 28   | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。            | 9 |   |                                |  |
|              | 29   | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。                           | 9 |   |                                |  |
|              | 30   | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。                   | 9 |   |                                |  |
|              | 31   | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。                            | 2 | 7 |                                | 機会を設けられていません。法人内にてスーパーバイズを実施しています。                                       |
|              | 32   | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。   | 3 | 6 | 近隣の児童館利用の機会をつくっている。            | 放デイを利用している児童が登校している区域内の児童館等と連携し、アセスメントの共有、役割分担により包括的な支援が行えるよう努めます。       |
|              | 33   | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。  |   | 9 |                                | 参加できていないです。今後、協議会の情報収集や参加の機会をつくるよう努めます。                                  |
|              | 34   | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。                                   | 9 |   |                                | 保護者メールや面談などをおこなっています。  |
| 35           | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 9  |   |   | ペアトレを実施しています。                  |  |
|              | 36   | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。   | 9 |   |                                |  |
|              | 37   | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 9 |   |                                |  |

|          |  |  |   |                                       |   |   |
|----------|--|--|---|---------------------------------------|---|---|
| 保護者への説明等 | 38   | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。                                 | 9 |                                       |   |   |
|          | 39   | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。  | 9 |                                       |   |   |
|          | 40   | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 7 | 2                                     | 前年度、茶話会という形で保護者会を開催しております。今後は様々な勉強会や企画も含めて定期開催していく予定です。 | 保護者会の目的を明確にし、早めの保護者様への案内が行えるよう努めます。       |
|          | 41   | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。                       | 9 |                                       |   |   |
|          | 42   | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。                   | 7 | 2                                     | 保護者様には、LINEによる日々の活動報告や月間の活動プログラム（予定）を配布している。            | NPO法人夢WALKのホームページや公式LINEによる情報発信を実施しております。 |
|          | 43   | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。  | 9 |                                       |   |   |
|          | 44   | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。  | 9 |                                       |   |   |
|          | 45   | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。  | 2 | 7                                     |   | 利用児童の家庭背景を考慮した計画を検討します。                   |
| 非常時等の対応  | 46   | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。            | 9 |                                       |   |   |
|          | 47   | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。                                  | 9 |                                       |   |   |
|          | 48   | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。  | 8 | 1                                     |   | 服用の必要な児童、てんかん発作などの持病のある児童は現在おりません。        |
|          | 49   | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。   | 7 | 2                                     |   | 食べ物アレルギーなど医師の指示書が必要な児童は現在おりません。           |
|          | 50   | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。                               | 9 |                                       |   |   |
|          | 51   | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。                                  | 8 | 1                                     |   | 家族への周知が不十分のため、改善に努めます。                    |
|          | 52   | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。  | 9 |                                       |   |   |
|          | 53   | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。   | 9 |                                       |   |   |
| 54       | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 7  | 2 | 現在、対象事例はありません。<br>重要事項説明書等に説明掲載しています。 |   |   |